

はしづめ さら  
橋詰 紗羅さん(福井農林高3年)

# 虐待を減らす対策必要



「虐待」の言葉は減ることなく、年数を重ねるごとに増えている。ニュースに無関心な私でも、何度も耳にしており、その次に聞かされてくるのは悲しい出来事ばかりだ。

この記事を読んでいると、虐

待を受けている子どもの親の7割が、自身の子ども時代に虐待を受けていたという。過度なストレスや子どもへの接し方がわからないなど、その虐待の原因はさまざまだ。

しかし、理由がどうであろうと、やっではいけないことであるのも確かなことだ。大人たちの行動一つで、育っていく前の小さな夢が壊れてしまうのだから。

これ以上、虐待を増やさないために、今ここで、この負の連鎖を断ち切らなくてはならない。なるべく早く、なるべくたくさんの方の支援策を用意しなくてはならない。少しでも多くの子どもたちが、笑顔で元気に成長できるように心から願っている。

3月31日付(30面)

## 虐待親7割被害経験

### 幼少期子育て影響か

子どもを虐待したことがあるという調査結果が、虐待を受けた子ども自身からも明らかになった。調査によると、子どもの虐待を受けた経験のある親は、子どもの虐待を受けた経験のある割合が、調査対象の約7割に達した。これは、虐待を受けた子ども自身が、虐待を受けた経験があるという割合とほぼ同じである。また、虐待を受けた子どもは、虐待を受けた経験のある親の割合が、調査対象の約7割に達した。これは、虐待を受けた子ども自身が、虐待を受けた経験があるという割合とほぼ同じである。

### 理研調査

虐待を受けた子どもは、虐待を受けた経験のある親の割合が、調査対象の約7割に達した。これは、虐待を受けた子ども自身が、虐待を受けた経験があるという割合とほぼ同じである。また、虐待を受けた子どもは、虐待を受けた経験のある親の割合が、調査対象の約7割に達した。これは、虐待を受けた子ども自身が、虐待を受けた経験があるという割合とほぼ同じである。

虐待を受けた子どもは、虐待を受けた経験のある親の割合が、調査対象の約7割に達した。これは、虐待を受けた子ども自身が、虐待を受けた経験があるという割合とほぼ同じである。また、虐待を受けた子どもは、虐待を受けた経験のある親の割合が、調査対象の約7割に達した。これは、虐待を受けた子ども自身が、虐待を受けた経験があるという割合とほぼ同じである。